

主の来臨のために準備する

(1)

目を覚まして、用意する

聖書：マタイ24:32-44, 25:1-13

I. マタイ第24章32節から44節の主の言葉は、目を覚ましていることと用意することについての言葉です：

- A. 「人の子の来臨も、ノアの日のようである」——37節：
1. 洪水の前のノアの世代を麻痺させた邪悪な生活の光景は、大患難と主の来臨の前の人の生活の危険な光景を描写しています——3, 21, 27, 37, 39節. ルカ17:26-27。
 2. わたしたちは初期の勝利者の携え上げにあずかるために、今日の人の生活の麻痺させる影響に打ち勝たなければなりません——21:34-36。
- B. 「その時、二人の人が畑にいと、一人は取られ、一人は残される。二人の女がうすをひいていると、一人は取られ、一人は残される」——マタイ24:40-41：
1. 取られるとは、大患難の前に携え上げられることです——21節. 啓3:10：
 - a. 携え上げの意味は、主の臨在の中へと取られることです。もしわたしたちが主の臨在の中に取られたいのであれば、今日、彼の臨在の中になければなりません——ルカ21:36. II コリント2:10。
 - b. 携え上げは、おもにわたしたちの享受のためではなく、神の享受、神のエコノミー、神のご計画の完成のためです。携え上げは、敵を打ち破り、神を満足させるためです——啓12:5. 14:1, 4後半。
 2. 取られる者は、命において円熟しています。残される者は、命において円熟していません。
 3. わたしたちは主の来臨を待ち、携え上げられるのを望むとき、均衡の取れた人の生活を生き、わたしたちの毎日の責務において忠信である必要があります——II テサロニケ3:6-15。
- C. 「だから、目を覚ましていなさい。あなたがたの主が来られるのがいつの日か、あなたがたはわからないからである」——マタイ24:42：
1. 勝利者たちは目を覚ましている者たちです。彼らは大患難の来る前に携え上げられます——21節。
 2. あなたがたが勝利を得て「これらの起ころうとしているすべての事から逃れ、人の子の前に立つことができるように、絶えず目を覚まして、祈り求めている」——ルカ21:36：
 - a. この勝利を得ることは、力と能力を持つことです。大患難から逃れる力と能力は、目を覚ましていることと祈り求めることからやって来ます。

- b. 「人の子の前に立つ」は、啓示録第14章1節の「立っており」と合致します。これが示していることは、大患難の前に、携え上げられた勝利者たちが、天のシオンの山で救い主の前に立つということです。
 - c. 取られて、御座の上のキリストに会うことは、わたしたちが専一に祈り求めることにかかっています。
- D. 「だから、あなたがたも用意していなさい。思いがけない時に、人の子は来るからである」——マタイ 24: 44 :
- 1. わたしたちは、自分が命において成長し円熟するようにと祈ることによって、主の来臨のために用意します——参照、Ⅱペテロ 1: 5-11。
 - 2. 用意を整えて携え上げられることは、極みに至るまでキリストで満たされることです——参照、エペソ 3: 16-17前半。

Ⅱ. マタイ第25章1節から13節の主の言葉は、目を覚ましていることのたとえです：

- A. 「その時、天の王国は、十人の処女が自分のともし火を持って、花婿を迎えに出て行くようなものである」——1節：
- 1. 処女は、命の面から見た信者を象徴します——Ⅱコリント 11: 2。
 - 2. ともし火は、信者の霊を象徴しており、その中には油としての神の霊が入っています——箴 20: 27. イザヤ 61: 1. ヘブル 1: 9. ローマ 8: 16。
- B. 「愚かな者たちは、ともし火を持っていたが、油は持っていなかった。しかし、思慮深い者たちは、自分のともし火と共に、器に油を持っていた」——マタイ 25: 3-4 :
- 1. 器は信者の魂を象徴します——ローマ 9: 21, 23-24。
 - 2. ともし火の中に油があることは、わたしたちの霊に内住する神の霊を持つことです。
 - 3. 器の中に油を持っていることは、わたしたちの魂を満たし浸透する神の霊を持つことです。
 - 4. わたしたちは、再生された霊の中にその霊を持っています。しかし問題は、わたしたちの魂の中にその霊の余剰があるかどうかです。
- C. 「愚かな者たちは思慮深い者たちに言った、『あなたがたの油を少し下さい。わたしたちのともし火が消えそうですから』。しかし、思慮深い者たちは答えて言った、『わたしたちとあなたがたのためには、おそらく十分でないでしょう。それよりも、売る者たちの所に行って、自分のために買いなさい』」——マタイ 25: 8-9 :
- 1. わたしたちは代価を払って、わたしたちの魂の中にその霊の満たしを持つ必要があります——4節：
 - a. 代価は、この世を放棄すること、自己を対処すること、すべてに勝って主を愛すること、キリストのためにすべてを損失と勘定するなどの事柄です。
 - b. わたしたちの霊の中に入ったその霊は、無代価で与えられました。しかし、浸透する霊がわたしたちの魂を満たすことは、無代価ではありません。
 - c. わたしたちはその霊をわたしたちの霊の中に持った後、代価を払って、その霊

のさらなる満たし、余剰の油を得る必要があります。

2. 目を覚ましていることは、その霊で満たされていることです——**13節**。エペソ**5:**

17-18:

- a. 目を覚ましていることは、油を買うことによって、毎日、自分自身の用意を整えることです。
- b. もしわたしたちがその霊にわたしたちの全存在に浸透していただくなら、わたしたちは目を覚ましている者であり、主の来臨のために用意を整えている者です。

3. わたしたちの魂がその霊で浸透され満たされることは、一日で達成され得ません。それは一生涯の事です。

4. わたしたちは自分がいつ死ぬのかわからないのですから、死ぬ前に自分の器の中に十分な油を蓄えることによって、用意を整える必要があります——**マタイ 25:4-5**。

5. 祈る以外に、油を得る他の方法はありません。祈りを通して、わたしたちはさらに多くのその霊を受けます——**エペソ 5:18**。 **6:18**。

6. わたしたちが早く携え上げられて、婚宴に入るかどうかは、わたしたちが毎日その霊を買うことにかかっています——**マタイ 25:10-12** :

- a. わたしたちが資格づけられて、携え上げられ、花婿の婚宴に入るためには、長い過程を経過して、霊的油を蓄える必要があります——**22:2**, **11-14**。 啓**19:7-9**。

- b. 十分な油が、わたしたちを婚宴へと入らせます——**マタイ 25:10**。